



令和4年度 教養講座開講式・人権講演会

4月27日(水) 10時～11時半

講師:安来大塚ふれあいセンター館長 森山茂樹さん
『同和問題における自身の体験と想い』

森山さんは同和地区外の方ですが、同和問題について自分の体験をふまえてお話いただきます。大塚ふれあいセンターでは、音楽バンドを結成し音楽を通して、差別をなくすための取り組みをされています。講演会につきましては、どなたでもご参加いただけますので、お誘い合せの上ご参加ください。本年度も楽しく充実した活動となるよう、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

♡ プチつと人権講座 ♡

『入れ歯を装着して』

私事で恐縮ですが、何十年も放っておいた虫歯を悪化させ、歯科医院に通院し、ついに部分入れ歯をすることになりました。口腔ケアの怠慢の結果だから、仕方ありません。

入れ歯装着の経験がおりの方はお分かりだと思いますが、毎日、口中に違和感を覚えながら生活しています。

まさに「異物混入状況」を実感しています。

例えば適切でないかもしれないかもしれませんが、人間関係においても「同じような状況」はよく生じます。

特に、人事異動などで、学校や職場で『新しい出会い』が多くみられるこの時期にはこういう状況が多くみられるのではないのでしょうか。

人間は元来、異質な物、人に対して、拒絶反応があると云われます。私たちはお互いに自分自身の拒絶反応を和らげる努力をしながら円滑な人間関係を築いて生活しています。

人間は誰と同じではありません。顔も違うし、性格も違います。だからこそ、摩擦が生じるのも致し方ないのかもしれない。

しかし、この摩擦も大きくなると、差別などのトラブルを生じる恐れが多々あります。

トラブルを防ぎ、円滑な人間関係を築いていくためにはやはり、お互いに違いを認め、個性を尊重しあうことが大事ではないでしょうか。

社会は自分と同じ価値観を持つ人だけでは構成されていないことを認識し、「みんなちがって、みんないい」という気持ちで過ごすことが大切ではないのでしょうか。

「存じ」の方もおられるかと思いますが、金子みすずさんの詩を紹介しておきます。

「私と小鳥と鈴と」

私が両手をひろげても お空はちとも飛べないが 飛べる小鳥は私のように、地面にべたべたを速く走れない。

私がからだをゆすつても きれいな音は出ないけど あの鳴る鈴は私のように、たくさんの唄は知らないよ。

鈴と、小鳥とそれから私 みんなちがって、みんないい。
※本年度も『プチつと人権講座』をよろしくお願いたします。



《 5月の予定 》

- 10日(火) いきいきクラブ(ダンボールピザ作り)
- 11日(水) 絵手紙ボランティア
- 12日(木) ニコニコ健康教室
神楽面作り教室
喜楽会
- 16日(月) あみものクラブ
- 18日(水) フラワーアレンジメント・高梨フラワーアレンジメント教室
- 20日(金) 俳句教室
- 21日(土) 習字教室
- 26日(木) ニコニコ健康教室
森林教室
- 27日(金) 切り絵教室

《 相談事業 》

隣保館はいろいろな相談をお受けしています。様々な差別事象や差別発言等の人権相談、パソコンの操作方法から申請書などの書き方、日常生活で困っている事や就労のことなど幅広く扱っています。各関係機関との連携を取りつつ、解決に向けて寄り添います。知りたいことやどこに相談していいかわからないなど、お気軽にご相談ください。
※ハローワークより求人情報が毎月隣保館に送られてきます。※求職されている方や最新情報が知りたい方は、隣保館までご連絡ください。

《 絵本の紹介 》 わたしはあかねこ

1匹だけみんなと違う、赤色をした猫。そんな赤猫が、自分らしさをわかってくれる場所を探して旅に出るお話。一番大事なことは自分を好きになること…ありのままの姿で自分らしく生きてほしい。子どもにもわかりやすく、大人も考えさせられる本です。

この本は閉講式の講演会の時に、藤住さんに紹介していただいた本です。時間の都合上、皆さんに見ていただくことができなかったのですが、しばらくの間お借りしていますので読みたいという方は隣保館へお声がけください。

※絵本の詳細

「わたしはあかねこ」
作 サトシン
絵 西村敏雄
出版社 文溪堂

令和3年度教養講座閉講式を3月24日に行いました。教育委員会社会教育主事の藤住亨さんに「多様性が尊重される地域へ」という題目でお話いただきました。『多様性』について、LGBT、SDGs、丙午、十二支など動画も交えながら幅広くお話いただきました。自分も他人も考え方や違いがあることを認め、助け合いながら幸せに暮らせる地域社会にしていこうということを教えていただきました。

